

令和7年12月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和7年12月22日 午後 3時00分開会 午後 4時35分閉会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、上野幸子教育長職務代理者、 飯田昌利委員、可知良之委員、久保大地委員
	欠 席	なし
説明のため出席した者の氏名・職名	今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、土崎参事兼生涯学習課長、坂口教育サポートセンター所長、樺島いろは遊学館長、桜谷柳瀬川図書館長、竹田いろは遊学図書館長、佐藤学校教育課副課長、高橋学校教育課副課長、恒石学校教育課主幹、新井生涯学習課主任	
会 議 書 記	石田教育総務課主事	
傍 聴 人	5人	
会 議 内 容	<p>議 題</p> <p>第41号議案 令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について</p> <p>第42号議案 志木市就学援助費支給規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 請願について</p> <p>(2) 専決処分について（令和7年度志木市一般会計補正予算（教育費））</p> <p>(3) 志木市立中学校学校選択制度の令和8年度希望状況について</p> <p>(4) 体力測定事業の実施報告について</p> <p>(5) 秋ヶ瀬運動公園パークゴルフにおける利用時間の拡充について</p> <p>(6) 第54回志木市民文化祭及び第33回志木市美術展覧会の実施報告について</p> <p>その他</p>	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○**柚木教育長**

令和7年12月定例教育委員会会議の開会を宣す。
傍聴希望者について、傍聴を許可する。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

議事録署名委員に上野教育長職務代理者を指名した。
会議書記に石田主事を指名した。

11月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎**教育委員会報告**

○**今野教育政策部長**

令和7年11月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 11月18日 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問
(宗岡第三小学校)
- ・ 11月19日 志木市教育委員会研究委嘱発表会
- ・ 11月20日 志木市いじめ防止対策委員会
- ・ 11月21日 埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・ 11月22日 戦後80周年平和祈念事業
志木市民花火大会
- ・ 11月24日 こどもライブフェスタin志木市
- ・ 11月25日 志木市議会12月定例会・開会
- ・ 11月28日 志木市議会12月定例会・総括質疑
- ・ 11月30日 朝霞地区バレーボール大会
- ・ 12月3日 定例校長会
- ・ 12月4日 志木市議会12月定例会・常任委員会
- ・ 12月9日 志木市議会12月定例会・一般質問（11日まで）
- ・ 12月16日 志木市議会12月定例会・閉会
複数・少人数指導体制推進事業検証委員会
- ・ 12月19日 全国高等学校バスケットボール選手権大会出場者 表敬訪問
- ・ 12月21日 市民武道大会・躰道大会

令和7年志木市議会12月定例会について
教育委員会への一般質問の答弁内容について説明

◎**報告事項（1）請願について**

○成田参事兼教育総務課長

請願者から「義務教育学校計画の経緯説明と進捗報告について、教育長が出席し質疑応答を行う日曜日開催の説明会を求める請願」及び「意見陳述申立書」が提出された。志木市教育委員会会議規則に基づき、請願に関する陳述を行うものである。陳述の時間については、7分間を希望されている。

○柚木教育長

請願者が意見陳述を7分以内で行うことを許可する。

＊＊ 請願者 入場 ＊＊

○成田参事兼教育総務課長

請願・陳述については、意見や要望を聞くことを主眼としており、この会議において、議論や決定または回答するものではない。また、教育長、教育委員等への質問や意見を求めることはできない。陳述中に誹謗中傷や声を荒げるなどの行為がある場合は退場を求めることがある。意見陳述は7分以内である。陳述終了後は速やかに退場をお願いする。

○請願者

請願に基づき意見陳述を行った。

＊＊ 請願者 退場 ＊＊

◎第41号議案 令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

○柚木教育長

第41号議案 令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について、説明を求める。

○成田参事兼教育総務課長

本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第5号及び第26条に基づき、事務の点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに公表するものである。今回、令和6年度に重点的な取り組みを行った教育行政施策を中心に、18事業について所管課が1次評価を行い、その中から事務点検評価委員に2次評価の対象事業を選定していただき、7事業について2次評価をしていただいた。詳細は資料のとおりである。

○柚木教育長

質問はあるか。

○委員

事務点検評価委員の全体的な評価として、目標設定や指標をより客観的な基準に基づいて設定すると良いとある。全ての事業について客観的に判断することは難しいと思うが、今後も可能な範囲で実施してほしい。

○委員

「目標や指標を明確に設定すること」との評価が多く項目において見られるが、教育現場においては数値に表すことが難しいものが多いと感じている。数値にすることを目的とせず、どのように目標や指標を表すのかを考えていくことが、前進するきっかけになるのではないかと。

○委員

教育サポートセンターの事業に対する事務点検評価書に、「経年変化を分析し、課題等をより的確に把握していくことが重要である。」とあるが、経年変化の状況把握や分析を教育サポートセンターだけで行うのは難しいのではないかと。教育委員会内でサポートできる仕組みが必要であると思う。

○坂口教育サポートセンター所長

今年度は学校教育課による校内支援ルームの設置等、教育サポートセンターだけでなく他課との連携を行っている。他にも子ども支援課、共生社会推進課等、子どもたちの環境を踏まえて実際に連携を進めているため、来年度以降も引き続き行っていきたい。

○成田参事兼教育総務課長

事務点検評価委員を務めている方は教育分野に識見を有しており、他市でも評価委員のご経験がある。今回の評価を踏まえ改善に努めていきたい。

○委員

タブレット端末等ICT機器を活用した授業の推進について、達成状況が概ね達成となっており、評価内に「具体的な成果指標を設定し」とあるが、なにを数値的根拠とするのが難しいと感じた。例えば同じ小学生でも低学年と高学年では内容の難易度も異なってくるなかで、なにをもって全て達成となるのか、事務点検評価委員の方の基準の設定について聞いてみたいと感じた。

○委員

いろは遊学館・公民館の講座、教室等の充実について、成果の内容が難しいと感じた。もう少しわかりやすい指標があると良いのではないかと。

○樺島いろは遊学館長

数値化が難しい、社会教育の成果を数値化しようとした結果、資料の内容となってしまった。社会教育の目的は居場所づくりであると考えているため、具体的な評価指標と社会教育の目的の双方をどのようにまとめられるか、改めて考えたい。

○委員

子ども読書活動推進事業の実施について、事務点検評価委員の方からもあるように、読解力、思考力、表現力を数値化して表すのは難しいのではないかと感じた。図書館を使った調べる学習コンクールを終えた子どもたちがどのように変わったのかまで成果の内容に組み込めると理想的であると思った。

○桜谷柳瀬川図書館長

子どもたちの読解力、思考力、表現力向上のきっかけとするため、図書館を使った調べる学習コンクールを開催したが、他の事業と同じように、成果や結果を数値化することが難しい。今回で2回目の開催であるが、2回とも参加している子どもたちの作品は1回目よりもさらに深い内容になっており、読解力等の向上がうかがえた。今回の評価をもとに次年度の事業に反映させていきたい。

○今野教育政策部長

これまでも子どもたちの読解力、思考力、表現力を伸ばすことを目的に、子ども読書活動推進事業を進めていたが、今後も他課と連携をとりながら進めていき、成果指標についても検討いきたい。

○委員

図書館を使った調べる学習コンクールの現状課題において、中学生の参加が少なかったという記載があったが、今回参加した小学生が中学生になった時にまた改めてコンクールに参加してくれる可能性ができたということだけでも一歩踏み出したと言えるのではないか。図書館に足を運び、図書館の素晴らしさを知るきっかけ作りも子ども読書活動推進事業の一面だと思うので、今回の成果は概ね達成ということだが、今後大いに期待できる事業であると感じた。

○委員

郷土資料館及び埋蔵文化財保管センターの再整備に向けた設計において、評価委員より、「今後は、体験事業や自習等を通じて得られる効果を成果指標として設定することも検討されたい。」とあるが、生涯学習課としてはどのように捉えているか。

○土崎参事兼生涯学習課長

埋蔵文化財保管センターに関しては、基本方針をもとに、「いつでもどこでも活用できる郷土資料」を施設の最終的な目標としている。今回は設計が完了したことで、成果は全て達成となっているが、基本方針に沿って進めていくことで最終的な目的が達成できると考えている。評価にある「今後は、体験事業や自習等を通じて得られる効果を成果指標として設定すること」は、施設が完成した後のことであると捉えており、施設が完成した際には、市民からの意見や来場者数を指標としていきたい。

○**柚木教育長**

他に質問はあるか。

○**全委員**

なし。

○**柚木教育長**

第41号議案 令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書については、原案のとおりとしてよろしいか。

○**全委員**

異議なし。

○**柚木教育長**

第41号議案 令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書については、原案のとおり可決された。

◎**第42号議案 志木市就学援助費支給規則の一部を改正する規則について**

○**柚木教育長**

第42号議案 志木市就学援助費支給規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○**高橋学校教育課副課長**

国が定める地方公共団体情報システムの標準化に関する法律において、就学に関する業務等について、今後標準化基準に適合した情報システムを利用することが義務づけられることに伴い、様式が変更となることから、様式を改めるものである。本規則は令和8年1月1日から施行となり、様式等の詳細については資料のとおりである。

○**柚木教育長**

質問はあるか。

○**全委員**

なし。

○**柚木教育長**

第42号議案 志木市就学援助費支給規則の一部を改正する規則については、原案のとおりとしてよろしいか。

○**全委員**

異議なし。

○**柚木教育長**

第42号議案 志木市就学援助費支給規則の一部を改正する規則については、原案のとおり可決された。

◎**報告事項（2）専決処分について（令和7年度志木市一般会計補正予算（教育費））**

○**恒石学校教育課主幹**

国から各自治体に対し、重点支援地方交付金が交付されることに伴い、子育て世帯への支援策として、令和8年度の中学校給食費補助事業を実施するため、補正を行うものである。金額等詳細については資料のとおりである。

◎**報告事項（3）志木市立中学校学校選択制度の令和8年度希望状況について**

○**高橋学校教育課副課長**

令和7年度入学予定者の志木市立中学校学校選択制度の希望状況については、基本学区以外の申請を含め、各校定員をほぼ超えないという見込みとなったため、全校抽選なしとした。内訳等詳細については資料のとおりである。

○**委員**

指定校変更希望者は、希望先に入学できる見込みなのか。

○**高橋学校教育課副課長**

今年度は抽選なしとなるため、希望通りの学校に進学できる見込みである。

◎**報告事項（4）体力測定事業の実施報告について**

○**新井生涯学習課主任**

11月16日に開催された第49回志木市健康まつりにおいて、さまざまなブースがあるうちの1つのブースとしてスポーツ推進委員による体力測定を実施した。参加者は159名と、大変多くの方に参加いただき、来年度以降も引き続き実施したいと考えている。体力測定種目や参加者の内訳等、詳細は資料のとおりである。

◎**報告事項（5）秋ヶ瀬運動公園パークゴルフにおける利用時間の拡充について**

○**新井生涯学習課主任**

熱中症対策の観点から、秋ヶ瀬運動公園パークゴルフ場の利用時間の拡充を実施するものである。他の月と比較すると8月等暑い時期は利用者が少ないことや、利用者からの要望を踏まえ、令和8年4月1日から9月まで、午前6時から8時までの時間を拡充する。その他、利用方法等詳細については資料のとおりである。

◎**報告事項（6）第54回志木市民文化祭及び第33回志木市美術展覧会の実施報告について**

○**土崎参事兼生涯学習課長**

第54回志木市民文化祭及び第33回志木市美術展覧会について、11月1日から3日の3日間で開催したので報告する。

まず志木市美術展覧会は、市庁舎にて6部門の展示発表を行った。出品点数は128点で、合計で3,071人という大勢の方にお越しいただいた。また、昨年度に引き続き高校生の作品も出品され、参加した生徒からは、「普段は同年代が集まる展覧会に出品しているので、とても良い刺激になった」「地域の方々の作品を観ることができ、とても勉強になった」等の声があり、大多数の生徒から次回も出品したいとの回答をいただいた。

今回新たに展示の工夫として、各団体の紹介を展示した。市民の皆さまに各団体のことを知っていただき、参加いただけたらと思っている。

次に志木市民文化祭では、舞台上で発表する芸能発表や、文化財や郷土資料に関する展示、生け花やお茶席を実施する展示発表、いろは子ども文化賞の作品展示等を実施した。芸能発表は総合福祉センターホール、展示発表と作品展示は美術展覧会とともに市庁舎の3階で実施した。各来場者数については芸能発表が合計1,179人、展示発表が合計3,290人と、昨年度よりも多くの方にお越しいただいた。また、文化体験道場で学んだ子どもたちの発表の機会として、今年度も文化祭に参加いただいた。今後も工夫を重ねてより良いものにしていきたい。

○委員

今回志木市美術展覧会にて、各団体の紹介としてパネル展示を行ったということだが、生涯学習関連施設として、埋蔵文化財保管センターにて展示している文化財の紹介をすることができたら、埋蔵文化財保管センターのアピールにもなるのではないかと感じた。

○土崎参事兼生涯学習課長

貴重なご意見として今後に反映していきたい。

◎その他

小・中学校2学期の様子等について

○佐藤学校教育課副課長

2学期は78日の事業日数があり、どの学校も大きな事故等の報告なく無事に2学期を終える予定である。2学期は学校行事が多く、校外学習や運動会・体育祭、市内音楽祭、創造展等を実施した。部活動では、各校においてさまざまな成果を出している。その他、授業研究会等の教職員間の行事も実施した。

○委員

創造展を拝見したが、生徒たちの想像力あふれる作品に感動した。

就学支援委員会の答申について

○坂口教育サポートセンター所長

令和7年度第3回就学支援委員会における答申の概要について報告する。今年度は11月6日・7日の2日間に渡り、慎重審議をしていただき、結果は資料のとおりとなった。就学に

関しては、幼稚園、保育園等の年長児で来年度小学校に入学予定のお子さんのうち、教育サポートセンターと面談を行っている保護者のお子さん対象となっており、通常学級が適しているもの、特別支援学級が適しているもの、特別支援学校が適しているものについて審議を行った。このほか転籍・転学や通級指導教室の審議結果についても資料のとおりである。また、教育サポートセンターで就学相談をしていない就学予定児で、幼稚園・保育園から情報提供があったり、就学時健康診断の時に行動観察で気になる様子があるお子さんについては情報提供を行い、人数は資料のとおりとなっている。

○委員

教育サポートセンターで面談している保護者については、保護者から面談の要望があったという認識でよろしいか。

○坂口教育サポートセンター所長

就学に関しては、幼稚園・保育園から保護者に教育サポートセンターを紹介していただき、相談がある場合には面談を行っている。転籍・転学については、各学校にある校内就学支援委員会において、行動観察で気になる様子があるお子さんについて答申を行っているため、教育サポートセンターとつながっているお子さんとそうでないお子さんがいる。

○委員

資料にある「教育サポートセンターで就学相談をしていない就学予定児数」とは、親御さんの了承はないが、答申にあげているという認識でよろしいか。

○坂口教育サポートセンター所長

特別支援学級等を選択しなくても問題ないようなお子さんも含まれており、幼稚園や保育園から少し気になると情報提供があったお子さんの人数になっている。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

他になれば、これをもって令和7年12月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は原本)